

# 2022年1月11日付適時開示\*に関する補足資料

**\* 阪和興業株式会社との資本業務提携契約の締結及び  
第三者割当による新株発行に関するお知らせ**

**株式会社ゼネラル・オイスター**

(証券コード：3224)

**2022年1月11日**



**General Oyster**

本社

東京都中央区日本橋茅場町2丁目13番13号 共同ビル7階

設立

**2000**年4月

マザーズ上場

**2015**年3月

売上高（2021年3月期実績）

**23**億円

直営店舗数

**25**店舗

取引先数（卸売事業）

約**300**社

OPC会員数（※）

約**35万**名

従業員数

**114**名

取得特許数

**3**

- ・「牡蠣の蓄養方法」
- ・「カキの陸上養殖方法」（米国、台湾、中国を含む）
- ・「カキの保存方法」

※同社独自の牡蠣愛好家のための会員制度「オイスター・ピース・クラブ」

～革新的な事業モデルにより、高付加価値な牡蠣を提供し、安全で豊かな食文化の創出に貢献～

## 経営理念

『カッキテキ』にいこう！

牡蠣の新たな価値を創造し、画期的な未来を提供します

Innovation

## VISION

Everybody Oyster

当社の提供する牡蠣で世界中の人々を笑顔にします

- 海洋深層水による独自の浄化方法や、独自の陸上養殖によりウイルスフリーな牡蠣を提供
- 自社ブランドによるオイスターバー・レストランを通じて、安全で豊かな牡蠣食文化の創出に貢献
- 世界初となる牡蠣の陸上養殖を含む、六次産業化の実現（バリューチェーンの最適化）に向けて、先行投資を継続実施（まもなく初出荷予定）
- 牡蠣愛好家による独自の会員基盤（約35万名規模）を構築
- SDGsへの対応（食の安全・健康、海洋汚染の防止、食糧問題の解決等）とともに、グローバル展開にも大きな可能性

## 1 コロナ禍で棄損した財務基盤の早期改善

1

コロナ禍に伴う業績悪化と加工工場に対する減損処理（約4.1億円）の実施により、2021年3月期に債務超過1.1億円を計上したが、期間損益の改善、並びに今回のファイナンス（5億円）による資本増強で、財務基盤の早期改善を実現する。

## 2 阪和興業との加工事業での協業を推進し、将来的には合併事業化への進化を目指す

2

2021年5月よりスタートした阪和興業との水産加工品（牡蠣以外）の受託業務が順調に稼働。今後さらに阪和興業の持つネットワーク・ノウハウを活かし、加工事業における長期的な収益源の拡大・強化に向けて進化させていく。

## 3 成長分野の育成

3

当社グループの安全を軸とした高品質な牡蠣の六次産業化のノウハウと、阪和興業の有するコンテンツ・ノウハウ、ネットワークを活かし、今後、成長が見込まれる牡蠣の陸上養殖事業や卸売事業、海外展開の育成を図っていく。



### ① 資本業務提携

- 普通株式：1億円
- 協業などの業務提携



### ② 増資引き受け

- 普通株式：4億円

(主要株主)  
ネクスタ匿名組合

## 阪和興業株式会社

(本社) 大阪市中央区伏見町4-3-9



事業内容

鉄鋼を中心  
とした独立系

# 商社

売上高 (2021年3月期実績)

(\* 2022年3月期予想)

1兆7,455億円

2兆円

設立

1947年4月

海外拠点

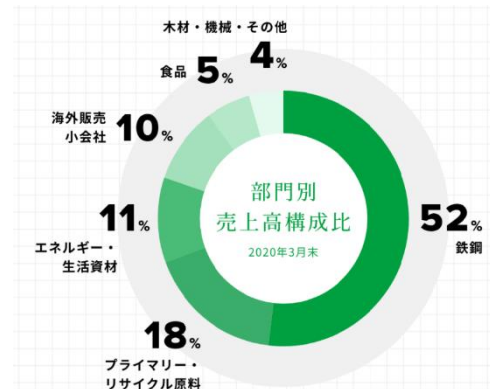
24カ国44拠点

食品事業

特に水産物に  
おいては数多く  
の取扱い品目で  
輸入シェアが

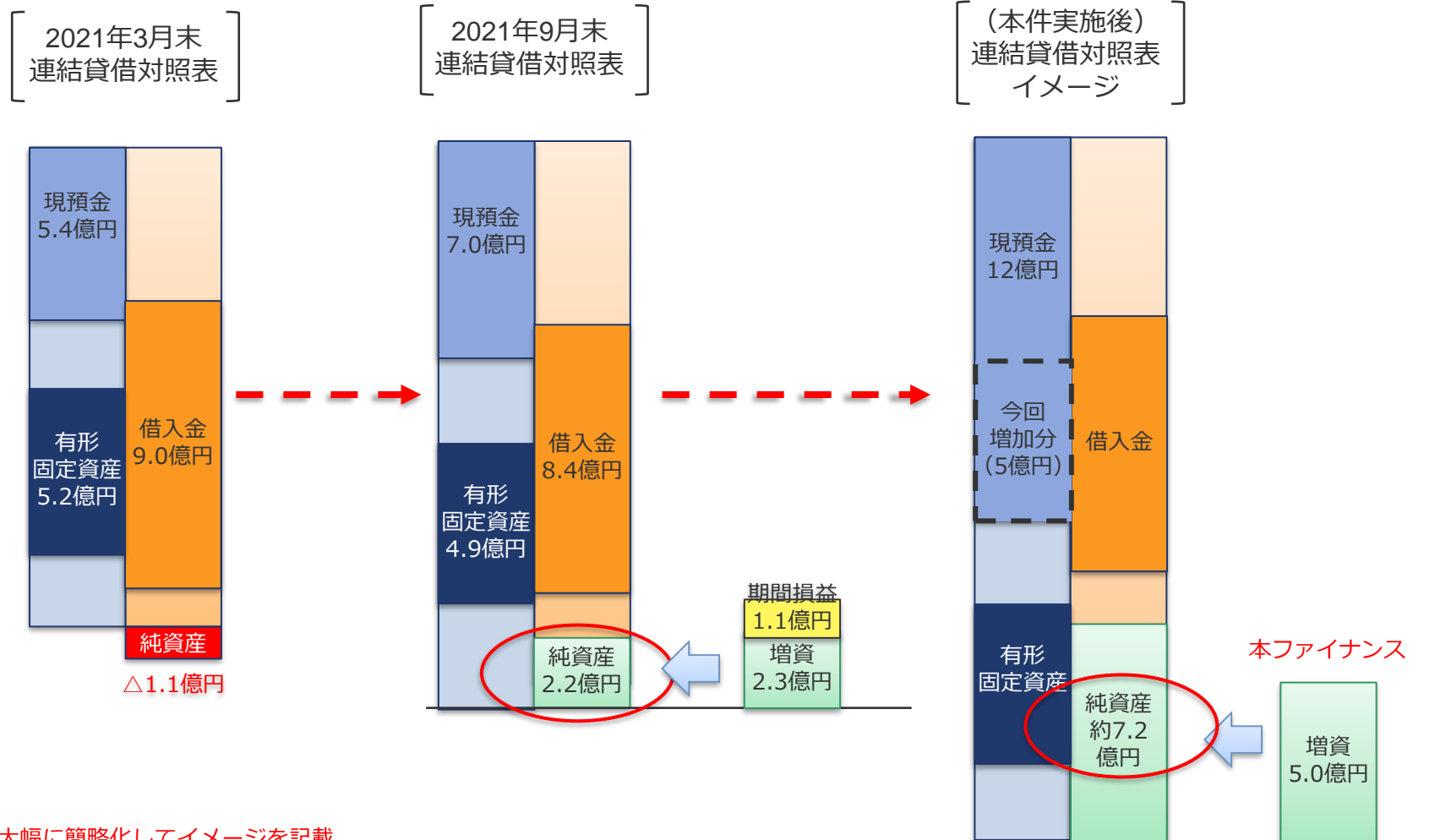
# トップ レベル

海外ネットワーク



# 本ファイナンスによる財務基盤強化の実現

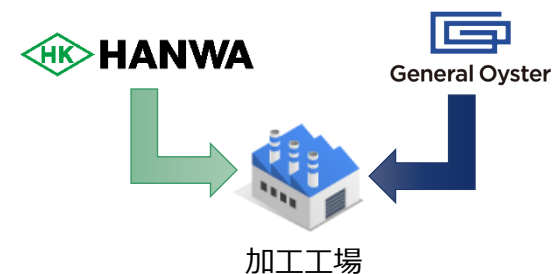
本ファイナンス（資金調達5億円）により純資産が5億円増え、2021年3月期末に債務超過に陥っていた財務基盤が大幅に改善。



\* 大幅に簡略化してイメージを記載

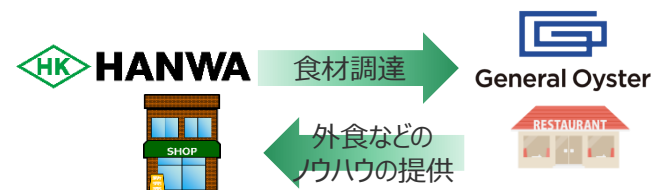
## 1 「加工事業における収益構造改革」

- 水産物（牡蠣以外）の加工事業での協業などにより、中長期的かつ安定的な収益の確保が見込まれる



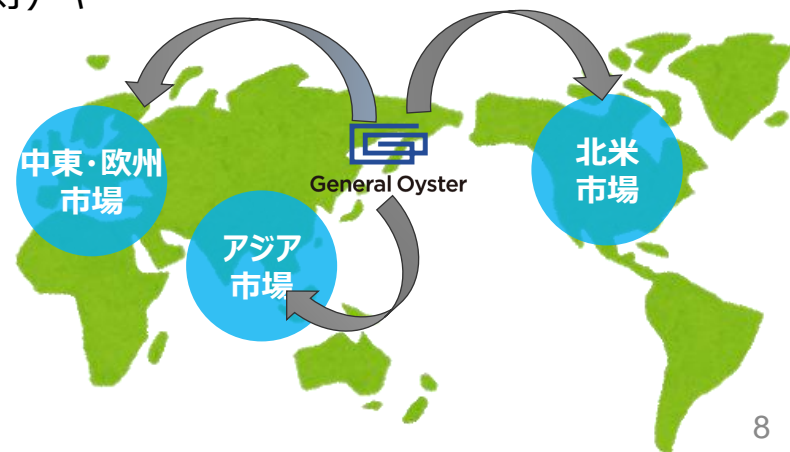
## 2 「小売事業における協力関係の構築」

- それぞれのノウハウやネットワークを相互活用することで、商品・ブランド・事業の強化と販路拡大を実現する



## 3 「成長分野の育成」

- EC・プラットフォーム事業などで、当社グループと阪和興業の保有するコンテンツ・ノウハウを活かし収益性向上と成長加速を図る。
- 当社グループが持つ陸上養殖技術（特許取得）や浄化技術（特許技術）と、阪和興業が持つ海外ネットワークを掛け合わせ、海外展開のスピードを早める。

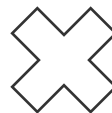




それぞれのノウハウやネットワークを活用し商品・ブランド・事業を展開



**General Oyster**



**HANWA**

- ・店舗力の強化
- ・加工事業の強化
- ・卸売事業の拡大
- ・EC事業の新たなプロモーション展開
- ・陸上養殖の量産化の加速
- ・海外進出の加速

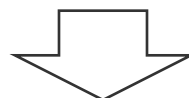


**成長加速、収益性向上**

- ・水産加工の国内プラットフォームの拡大
- ・小売、外食事業の育成
- ・保有コンテンツ（取扱い食材等）の活用
- ・陸上養殖による持続可能な水産の研究
- ・事業拡大を通じた新たな顧客層の開拓

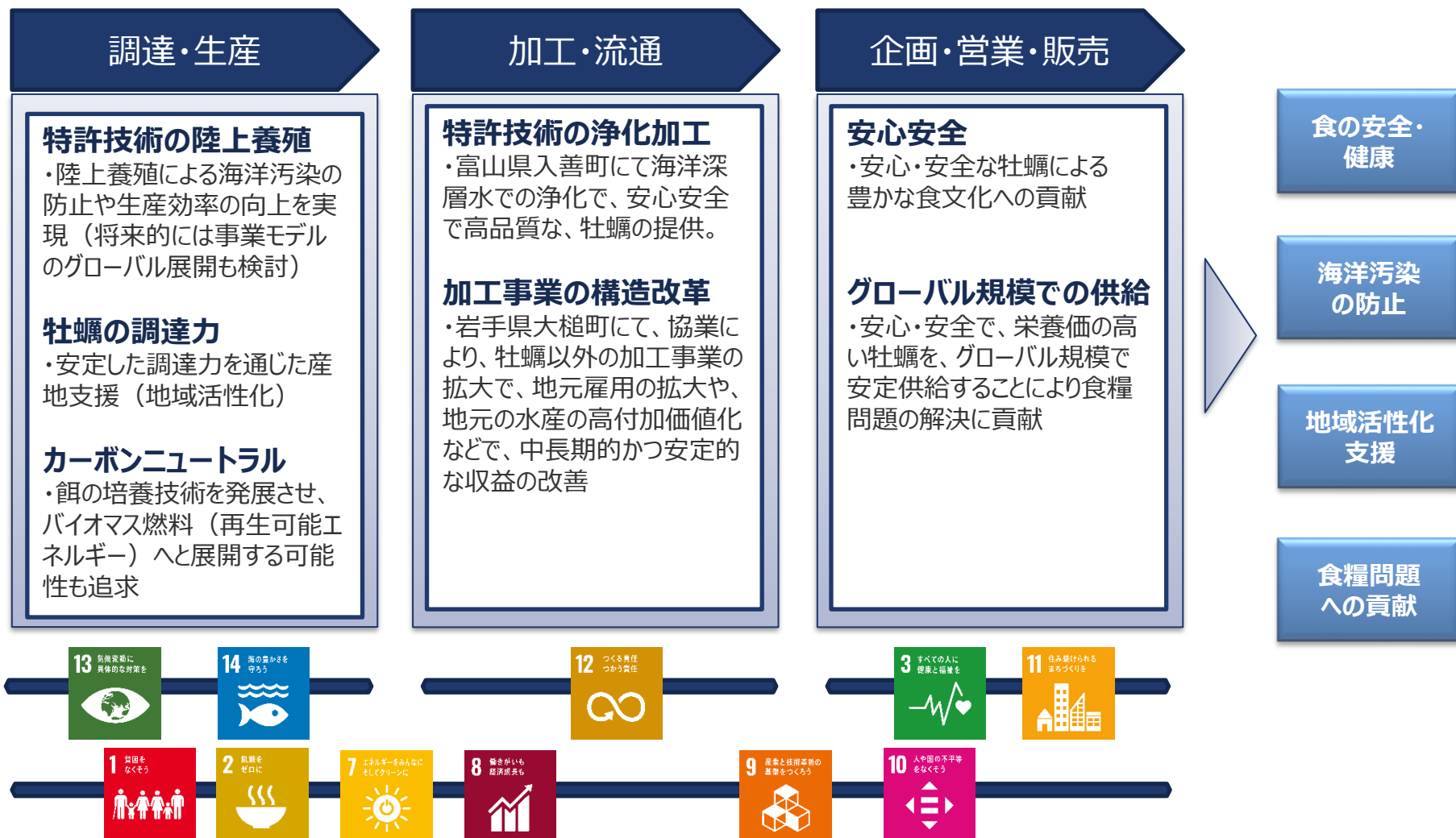


**事業領域の拡大  
新規顧客の獲得**

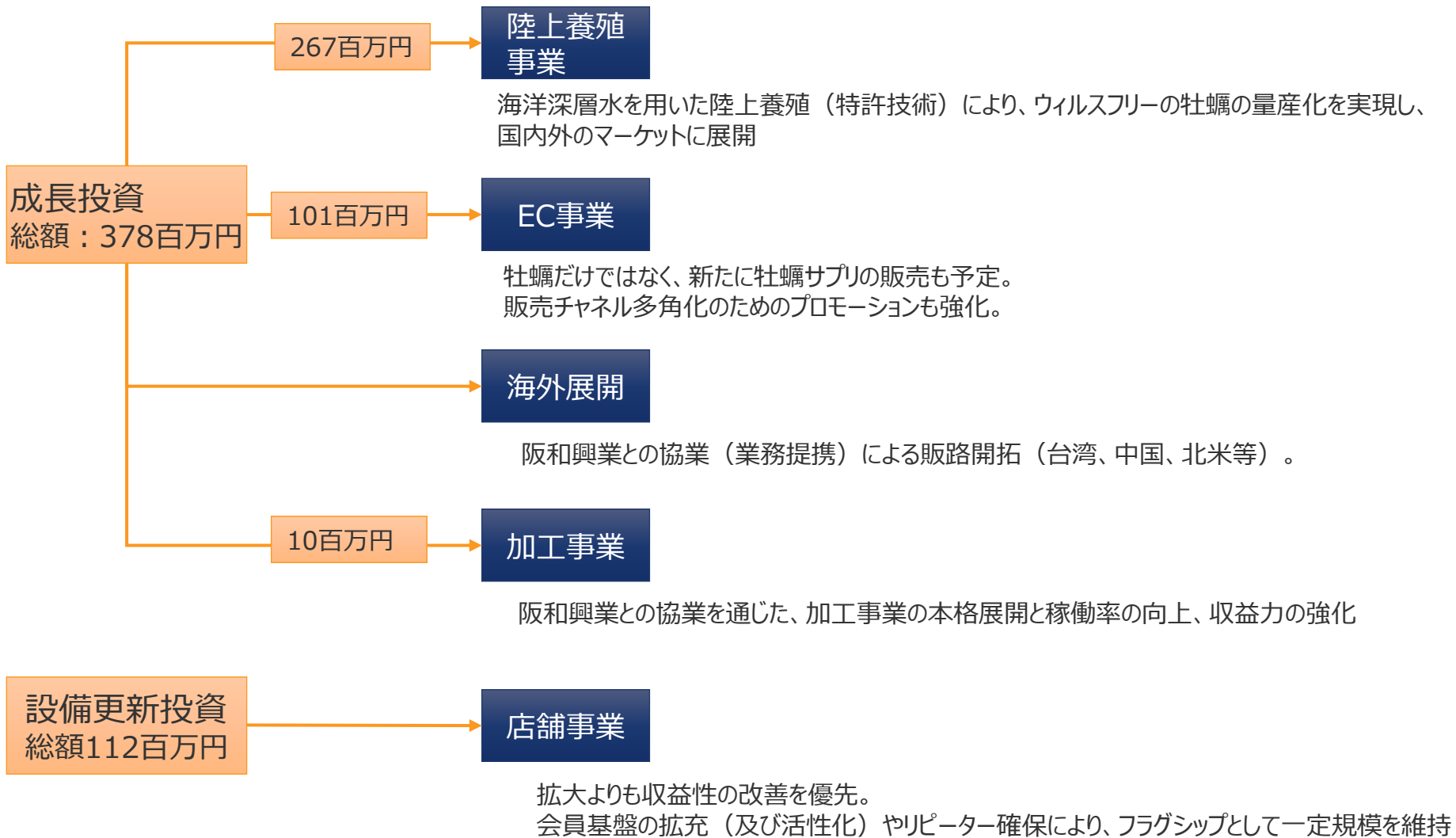


**バリューチェーンを通じたSDGsへの貢献**

～SDGs（持続的な開発目標）／ 社会課題の解決に向けた貢献を成長機会の創出につなげる～



## 成長投資・設備更新投資：総額約5億円



## 免責事項

本資料の作成に当たり、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、作成しております。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。